

# 第70回三島市美術展 入賞者一覧

## 【日本画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ
市長賞	7	影山 静子	酔芙蓉	F10号
議長賞	4	杉本 穂	田種寺	50×65cm
教育長賞	3	平井 由利子	白椿	F6号
実行委員長賞	11	岩谷 隆史	紅葉のプリトヴィツェ	F10号
奨励賞	10	石井 眞知子	優しさに包まれて	73×103cm

### 〔審査員講評〕

市長賞：白い芙蓉がやわらかい雰囲気、全体に緑のトーンが美しい。議長賞：写真と思われる作品であるが丁寧に描かれており、明暗のとり方が素敵です。教育長賞：絵のうまさを感じる作品で、バックの紫系のグレーが花・花瓶を引き立てている。実行委員長賞：面白い風景、中央に雲らしきものがあり、滝、紅葉、水面、これだけ描いているのに良くまとまっている。次回は大作に挑んで下さい。奨励賞：明るい作品、赤、ピンク、白、画面の中で元気に生き生きとしている、観る人を優しくさせてくれる作品に成りました。賞には入りませんでしたが「流鏝馬」、大作でしっかり描かれており、好感の持てる作品でした。

審査員 大場 茂之、清水 照夫

## 【洋画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ、技法
市長賞	31	市川 優子	静寂	F80号、油彩
議長賞	38	清水 和子	静物	F100号、油彩
教育長賞	32	安藤 幸子	ペット	80号、油彩
実行委員長賞	33	杉山 記子	藤の花	B1、パステル
奨励賞	30	渡辺 美幸	おばあちゃんの晴れ着	51.5×36.4cm、パステル
奨励賞	39	大島 正年	煙	50号、ペン
奨励賞	44	三浦 まさえ	ふけの湯	F20号、油彩
奨励賞	45	中島 良和	収穫の日に	F20号、油彩
奨励賞	49	川尻 千代子	道標(大平城址)	F10号、パステル

### 〔審査員講評〕

市長賞：波紋を上手に捉え水面の表情を豊かに描き、計算された緻密さも感じられる秀作。議長賞：筆の使い方がのびのびしており色彩も豊か。描く楽しさが感じられた。教育長賞：大胆な構図と色彩感覚の良さが目を引いた。細かい作業も手を抜かず美しく仕上げられている。実行委員長賞：対象をよく観察し藤だけで奥行きが表現され、少ない色で情感豊かな作品になっている。奨励賞の1つはペンで思いがけない良い表現がされている。色々なものに見え、遊んでいるようでまとまっていた。緻密な表現を使い分けており力作揃いだった。大きな作品を描いたらどうなるのか期待も込めて賞を贈りたい。

審査員 宇城 正紀、塩川 晴美

## 【総合美術・工芸の部】

賞	目録No.	氏名	題名	技法
市長賞	21	町田 兼一	三島雪形焼き	焼き物
議長賞	30	長澤 武司	早蕨	彫金(銀象嵌)
教育長賞	17	富永 敏明	木彫[能舞]	木彫像
実行委員長賞	26	神山 栄一	四仙幻想	屏風(六曲一隻)
奨励賞	19	梶田 秀夫	みんなでドレミ	ミクストメディア
奨励賞	35	望月 汎岳	オブジェ(月下美人)	彫刻(漆)

### 〔審査員講評〕

本年当部門には様々なジャンルの作品が出品されました。まず市長賞の「三島雪形焼き」は灰色がかった土に白土で象嵌模様を入れる三島手の技法用い雪山を描いた作品で、郷土愛と共に着想と表現が見事に融合していました。議長賞の「早蕨」は柔らかな黒に色上げされた器面に、地平から顔を出したばかりの蕨が描写され、春の1日を彷彿とさせます。教育長賞の「木彫[能舞]」は、ボリュームのある能装束の下にバランスのとれた身体が確かに感じられ、実行委員長賞「四仙幻想」は旅行で得た感動を作品にまで仕上げています。奨励賞「みんなでドレミ」は身近な素材を用いて創作を楽しむ姿勢がまさに市美術展にふさわしい作品でした。「オブジェ」は彫りとともに漆の仕上げに工夫が見られました。

審査員 志田 理子、渡辺 憲二

## 【写真の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	44	伊藤 芳樹	浮かび上がる街明かり
議長賞	24	杉本 由季	叶わぬ恋
教育長賞	2	松村 賢司	僕のお母さん
実行委員長賞	16	石原 新二	風を孕んでGO!!
奨励賞	42	山田 章雄	春を奏でる
奨励賞	52	相磯 美恵子	里山のくらし
奨励賞	53	藤井 治朗	いい香り
奨励賞	61	望月 正誼	湖畔の春
奨励賞	62	望月 重雄	厳冬の朝
奨励賞	68	齊藤 末男	極寒の朝

### 〔審査員講評〕

市長賞：普通の町並みの風景を幻想的に仕上げた作品になっている。議長賞：カメラアイによりユーモラスと愛情にあふれた作品となっている。教育長賞：母子の愛情や子供の持っている写真にいろいろな物語性が読み取れる作品である。実行委員長賞：帆の力強さを造形的に表現し船員の厳しさもあわせ持った作品になっている。奨励賞「春を奏でる」：風の動きが春の感情や色を感じさせてくれる。「里山のくらし」カーブミラーをじょうずに使って里山を表現している。「いい香り」：ユーモラスで良いのだが、画面構成に一考の余地あり。「湖畔の春」：色合いの複雑さがおもしろく表現されている。「厳冬の朝」：ちょっと見落としそうな風景だが厳冬のモノトーンをボケやブレを使ってより一層の厳しさが表現されている。「極寒の朝」：朝の厳しさを的確に表現している。

審査員 銭谷 均、松野 崇

## 【書道の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	3	眞鍋 翠花	鄭谷詩
議長賞	4	村上 貴美子	三木露風詩 鷗
教育長賞	2	藤池 菁鳳	万葉集より二首
実行委員長賞	5	中嶋 裕子	張仲素詩
奨励賞	1	音漣 胡々	星
奨励賞	6	遠藤 輝子	臨 雁塔聖教序
奨励賞	7	河野 知世	春霞

### 〔審査員講評〕

コロナ禍が続く中、展覧会を御開催された三島市に感謝申し上げますと共に、意欲作を御出品された皆様に敬意を評します。今回展は例年にも増し、多様な表現の作品が出品され楽しく審査をいたしました。市長賞の眞鍋さんの鄭谷詩は、中国北魏時代の楷書を基盤に強固な書線で構築的な表現を試み他の作品よりも一頭地抜きん出ていました。また、議長賞の村上さんは三木露風の「鷗」という詩を、筆毛の機能を巧みに生かしてリズムカルに軽快に書き上げ、現代感覚溢れる瑞々しい作品にまとめ上げています。教育長賞の藤池さんは、多様な線質を用いて行を構成すると同時に、墨量の濃淡の変化を大胆につけ鑑賞者の目を引く独自の世界を築いています。今回展においては学生の出品が多くあり、三島市の書道の活性化が期待され喜ばしく思います。若い人たちには生涯の良きパートナーとして書に長く取り組んでいって欲しいと思います。

審査員 池谷 天外、鈴木 玉翠